

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	創業支援事業				会計	款	項	目	大	小
					01	07	01	02	02	51
政策	05	5節 賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）			主管課	商工振興課				
施策	5-1	商業の拠点づくりと地域密着型サービスの強化			主管課長	渋谷 俊之				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	創業者及び創業予定者	意図	創業を支援することで地域経済の活性化を図る。
事業内容	商工会議所、金融機関等と連携し、市内で新規に創業、創業後5年未満の事業者を対象とした「ワンストップ相談窓口」を設け創業の実現を促進する。また、女性向け創業スクールを開催し、参加者の2割程度の創業を目指す。さらに、流山商工会議所を認定連携創業支援事業者とし「創業塾」を開催し、経営、財務、人材育成、販路開拓等の知識習得に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市創業支援事業計画に基づき、市内で創業・起業しようとする方の支援を図るため、女性向け創業スクール及び交流会、サポート会を開催。また、連携事業者である商工会議所が創業塾を1期、6回開催。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	女性向け創業スクール参加者数	21	31	17	人	▲▲
②	創業塾参加者数	14	13	30	人	▲▲	実績より
③							
④							
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	女性向け創業スクール回数は減少したが、これまで同スクールに参加した受講生を対象とした交流会を実施した。		目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）		流山商工会議所と連携し、市内で新規に創業及び創業後5年未満の事業者を対象に、経営基盤の安定や開業率の引上げによる地域経済の活性化に繋げるため、「ワンストップ相談窓口」、「女性向け創業スクール」、「創業スクール」を設置・開催するなどし、創業の機運を高めるとともに、創業予定者の醸成を図った。		
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,960,468	2,400,950	2,652,780			
事業費(b)(円)		454,468	684,700	974,780			
うち一般財源			684,700	974,780			
職員給与費(c)(円)		1,506,000	1,716,250	1,678,000			
人役・職員(人)		0.20	0.25	0.25			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	ワンストップ相談窓口の充実、女性向け創業スクール、交流会の開催による創業予定者の醸成。	③取組の課題	スクール参加者の創業数の増加。創業のための場所の確保に向けた支援。
②今年度(H29)に実施した取組	ワンストップ相談窓口の継続と充実、女性向け創業スクール、交流会の開催による創業予定者の醸成が図れた。	④今後(H30以降)の改善計画	国の働き方改革に伴う制度を注視し、本制度の情報をHP等で発信する。市が行うセミナーの開催については修了生の交流会やサポートに努める。